別記様式（第２条関係）

会　議　結　果　報　告　書

令和３年１０月　５日

会議の名称	庁議
開 催 日 時	令和３年１０月５日（火）９時４０分～９時５０分
開 催 場 所	庁議室
出席者職氏名	市長　香川武文　副市長　櫻井正彦　教育長　柚木　博 総合行政部長　尾﨑誠一　　総務部長　川幡浩之 市民生活部長　村山　修　　福祉部長　村上孝浩 子ども・健康部長　大熊克之　　都市整備部長　中森福夫 市長公室長　松永　仁　　上下水道部長　渋谷　聡 会計管理者　豊島俊二　　議会事務局長　大河内充 教育政策部長　北村竜一 （計１４人）
欠席者職氏名	
説明員職氏名	【報告】 １　総務部長　川幡浩之
議　　　題	【報告】 １　令和４年度予算編成方針について（総務部）
結　　　果	【報告】 １　了解
事務局職員職氏名	秘書政策課長　外立健一
その他必要事項	特になし

会 議 内 容 の 記 録 （ 経 過 、 結 果 等 ）

開会

総合行政部長が開会を告げる。

【報告】

1　令和４年度予算編成方針について（総務部）

○概要説明：総務部長

令和４年度予算編成における基本的な考え方は、次の４点である。

① 新庁舎の完成、いろは親水公園のリニューアル等、まちの様相が大きく進展する一方で、長期化するコロナ禍により未だ先行きが不透明な状況の中にあっては、行政サービスが遅れをとることのないよう、「しき躍進計画３５」の具体的な計画の推進はもとより、５つのビジョンに基づき、柔軟な発想のもと、従来の思考に捕らわれることなく、社会情勢を的確に捉えた事業を展開するための予算を計上すること。

② ポストコロナ時代の変容した日常を見据え、市役所改革を念頭に新たな市民サービスのあり方を模索するとともに、まちの活力を回復させるべく、全世帯意識調査の結果を踏まえ、安心して暮らせる市民生活を堅守しつつ、元気で活気あふれる志木市を取り戻すための取組みを創出すること。

③ 行政需要の多様化が進む一方で、将来的な労働人口の減少は避けて通ることはできず、安定した行政運営を行っていく上では、自治体ＤＸの推進や働き方改革の推進など、行政サービスの利便性の向上に加え、職員の事務負担軽減の視点をあわせ持った事業の展開や転換を積極的に立案すること。

④ 社会保障経費が増加の一途をたどっていることに加え、公共施設更新等への多大な財政出動が控えている一方で、税収の落ち込みが懸念される中にあっても、大規模災害等の緊急的な対応に堪えられる持続可能な自治体を目指し、徹底的な無駄の削減や国・県等の補助金活用等、新規・拡充事業の展開にあたっては、財源の捻出と確保が前提であることを強く意識し、検討すること。

なお、予算編成の主なスケジュールは以下のとおりである。

《予算編成の主なスケジュール（予定)》

予算編成方針説明動画配信　10 月 6 日

予算入力期間　10 月 6 日 ～ 10 月 28 日

財政課長ヒアリング	11月 2日 ～ 11月 11日
財政課長査定結果通知	12月 21日
復活要求・軽易調整	12月 21日 ～ 12月 24日
総務部長査定結果通知	12月 28日
市長査定	1月 6日 ～ 1月 12日

○質疑応答等

庁議メンバー：全世帯意識調査の結果はいつ頃になるのか。

市長公室長：当初予算に調査結果を反映させるため、集計・単純集計分析を１２月上旬にフィードバックする予定。

市長：当初予算の事業に意識調査の結果を反映できるようしっかりと取り組むこと

備考　会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。